

心理学検査・測定実習

科目ナンバリング EXP-202
必修 2単位

森脇	愛子・新谷	和代・石田	航・
小松	英海・石田	一希・辻田	匡葵・
飯干	諒祐・尹	成秀・麻田	萌・
信吉	真璃奈・横田	悠季	

1. 授業の概要(ねらい)

心理学は客観的事実に基づいて人間を探究する学問であり、研究にあたっては、実験・調査が不可欠である。
この授業では、心理学における各種検査法や観察法を実際に体験し、レポートにまとめることを通して、それらの基礎的な方法論を習得することを目的とする。

以下の種目について実習を実施する(予定)。

- 種目1 知能検査
- 種目2 質問紙法性格検査(目録法)
- 種目3 観察法
- 種目4 調査面接法
- 種目5 投映法人格検査
- 種目6 項目分析

初回の授業では、前半に、全クラス合同のガイダンス、後半に、特別授業(職業・資格と心理学)を予定している。2回目以降は、基本的に、各班に分かれ、種目ごとに教室を移動して実習を進める。実習の種目及びスケジュールについては、手引書により、ガイダンス時に説明する。種目ごとに、異なる教員が担当する。各種目の実習後、締め切り日までにレポートを提出することになる。

2. 授業の到達目標

心理学に関連した調査の基礎的な方法論を学ぶ。
実習の手続き内容を記載した手引書に、各種目ごとの具体的な到達目標が記載されている。

3. 成績評価の方法および基準

参加態度および提出されるレポートによる。全回出席し、すべてのレポートを提出しないと単位の取得はできない。

4. 教科書・参考文献

教科書

手引書はガイダンス時に配布する。

参考文献

各実習の参考文献等は、その都度紹介する。

5. 準備学修の内容

心理学の研究法について予習しておく。

6. その他履修上の注意事項

心理学科の授業の中で非常に重視される科目である。やむを得ず欠席しなくてはならない場合には、事前に心理学準備室窓口まで知らせること。遅刻は絶対にしないこと。春期の「心理学基礎実験実習」の単位を取得できなかった学生で、この授業の単位も取得できなかった場合は、留年となるので注意すること。

※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。

2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 以下は、1つの班を例としたものである。(予定)
イントロダクション/職業・資格と心理学 |
| 【第2回】 | 知能検査 |
| 【第3回】 | 知能検査の実習 |
| 【第4回】 | 質問紙性格検査 |
| 【第5回】 | 質問紙性格検査の実習 |
| 【第6回】 | 研究・実験に参加するとは / 講義 |
| 【第7回】 | 観察法 |
| 【第8回】 | 観察法の実習 |
| 【第9回】 | 調査面接法 |
| 【第10回】 | 調査面接法の実習 |
| 【第11回】 | 投映法人格検査 |
| 【第12回】 | 投映法人格検査の実習 |
| 【第13回】 | 項目分析 |
| 【第14回】 | 項目分析の実習 |
| 【第15回】 | まとめ |